コミュニケーションができる人「日本語A」編

IBの日本語で身に付けるコミュニケーションスキルって？？







①他者とのディスカッションを通して、ともに考えを深める

日本語A「言語と文学」では、文学作品や広告、スピーチ原稿、ミュージックビデオといった幅広い「テクスト」を扱います。これらの「テクスト」の解釈・分析を行う際はグループディスカッションが中心となります。グループでのコミュニケーションを通して多角的に作品を捉え、より深い解釈や分析を行っていきます。

②自らの解釈や分析を発信できるようになる

グループディスカッションを通して理解を深めたテクストに対する考察を整理し、その内容を発信します。具体的には「プレゼンテーション」や「論文の執筆」を数多く行います。論理的で一貫性のある発信（アウトプット）を行おうとすることで、同時にテクストに対する理解も深まります。

③作品とのコミュニケーションをとおして作品理解を深める

テクストのなかの言葉や記号が、社会や人間関係のなかでどのような意味を持ちうるのかを作品との対話を通じて探究します。文学理論や重要な概念を手掛かりに、テクストと丁寧に向き合うことになります。テクストに対する理解が深まれば深まるほど、自分の価値観や世界に対するものの見方が豊かになることを実感できます。